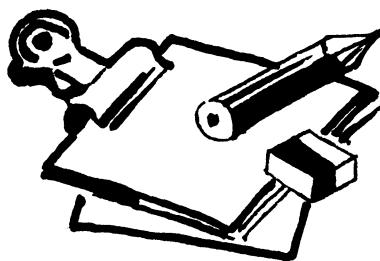


— 県 南 —

誌

日

教育事務所



▼世界の子供たちと仲よく



▲刊行された副読本



S」にたくさんの友達ができ、今も手紙や電話などで便りを交換している。七月のシンポジウムに参加した子供たちは、自然の家以来三ヶ月ぶりに、「NIS」の子供たちと感激的な再会ができた。

小学校社会科の副読本 「わたしたちの鮫川村」を発刊

小学校社会科学習の副読本として編集したもので、B5版、百ページ、写真百五十枚余、その他地図グラフ等を学習のねらいにそつて資料を多く取り入れたすばらしい副読本が発刊された。

昨年、鮫川村教育委員会と村内校長会で話し合い、教委事務局と各小中学校から編集委員が委嘱された。

内容は、新学習指導要領に基づいて構成されている。

(1) 三年生の内容

- 鮫川村のようす
- 鮫川村の人びとの暮らしと農家のしごと

○工場のしごと

(2) 四年生の内容

- けんこうでゆたかな生活
- 安全な生活
- 人々の暮らしをよくするため

略

編集に当たって留意していること

○山村振興計画、阿武隈開発計画など進められている鮫川村の現状を学習のねらいに照らして、適切な資料を多く取り入れた。